

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	コンピュータ機械設計	
科目基礎情報							
科目番号	0012			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	海上輸送システム工学専攻			対象学年	専1		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	使用せず適宜指示する						
担当教員	沖 俊任						
到達目標							
CAD・CAE・CAM（Computer Aided Design・Computer Aided Engineering・Computer Aided Manufacturing）について、基本操作の習得を行う。 設計に必要な数値解析や数式処理について、基本操作を習得する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
CAD・CAE・CAMを用いて機械設計ができる。	作成した作品の評価ができ、修正してより良い作品にできる。		操作ができる。		操作ができない。		
数式処理システムで式の変形ができる。	特別研究などに応用できる。		簡単な数学計算ができる。		数式処理システムが操作できない。		
数値処理システムでシミュレーションが使用できる。	特別研究などに応用できる。		簡単な数学計算ができる。		数値処理システムが操作できない。		
学科の到達目標項目との関係							
専門 A1 専門 A2 専門 E3							
教育方法等							
概要							
授業の進め方・方法							
注意点	講義に用いるソフトウェアは、フリーソフトを用いる予定である（登録が必要なものがある）。 パソコンを持っているならば、各自でもインストールして十分使えるようになることが望ましい。持っていない場合は、PC室で十分練習すること。 1単位当たり30時間の自学自習を必要とする。						
実務経験のある教員による授業科目							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス、および、3DCADについて		授業の進め方と採点の方法について理解する。		
		2週	CADを用いた機械設計		3DCADを用いて簡単な機械設計ができるようになる。		
		3週	ソフト：PTC製：Creo Elements Direct Modeling Express				
		4週	パーツ、アッセンブリ、2D図面				
		5週					
		6週	CAEを用いた構造解析		3DCAD作った構造物に対してCAEで構造解析を行うことができる		
		7週	ソフト：Fine Element Technologies製：LISA				
		8週	有限要素法				
	2ndQ	9週	CAMを用いたNCプログラミング		3DCAD作った構造物をNCで作成するためのGコードを作ることができる。3Dプリンタとの比較が説明できる。		
		10週	ソフト：MecSoft製：VisualCADCAM				
		11週	NC、3Dプリンタとの比較				
		12週	数式処理システムを用いた技術計算		数式処理システムを用いて簡単な数式処理ができる		
		13週	ソフト：wxMaxima				
		14週	数値計算システムを用いたシミュレーション		数値処理システムを用いて簡単なシミュレーションができる。		
		15週	ソフト：SCILAB				
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	レポート	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
知識の基本的な理解	0	0	0	0	40	0	40
思考・推論・創造への適応力	0	0	0	0	60	0	60
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0